

特集

06日曜学校 サマーキャンプ報告

七月二十六日・二十七日に日曜学校サマーキャンプが行われました。今回は、Sr.高良にサマーキャンプの報告を書いていただきましたので、写真と一緒にお届けします。



多治見修道院

『自然にふれた サマーキャンプ』

Sr. 高良 弘美

日曜学校のサマーキャンプが七月二十六日～二十七日まで行なわれました。今年久しぶりに教会から離れて、多治見修道院内ログハウス研修センターで行ないました。多治見修道院は日本における男子三大修道院の一つと呼ばれ、広い敷地内一面に、ぶどう畑がひろがっています。豊かな緑に囲まれ、美しい自然と触れ合いながら神さまを称える事ができるようにと願って楽しいプログラムを企画しました。



虎渓山（永保寺庭園）

今年のキャンプは小学生十七人、中学生六人、そしてリーダー、シスター、神父様を合わせて二十五人で行なわれました。まだ梅雨の季節で前日まで曇り雨が続きおりましたが、当日は素晴らしい天気恵まれました。

一日目はシュールベルト神父様に多治見教会を案内していただき教会の歴史や聖堂の絵、サイド側に並んでいる祭壇などの説明をしていただきました。午後は「世界の初め」を絵で表してお話をし、グループで自然の中で神さまの素晴らしさを見つけましょうと野外活動を行ないました。



神さまから頂いた自然を見つけよう

子どもたちが走り始めたぶどう園の小道を歩き、草むらで昆虫や小さなお花を見つけ、歓声をあげている姿には感動しました。後で行った発表で子どもたちの興味や特徴が良く出ていて頼もしく思いました。2日目は各班に分かれて、共同祈願や、自然の中で見つけた素晴らしい物をポスターに書いたり、折り紙をしたりしてミサの準備をしました。その後、鹿溪山の永保寺を見学し、緑に囲まれた静かな公園で遊びました。キャンプの締めくくりとしてこの二日間、頂いたお恵みの感謝のミサを捧げました。